

先祖の霊を供養し、五穀豊穡をねがう

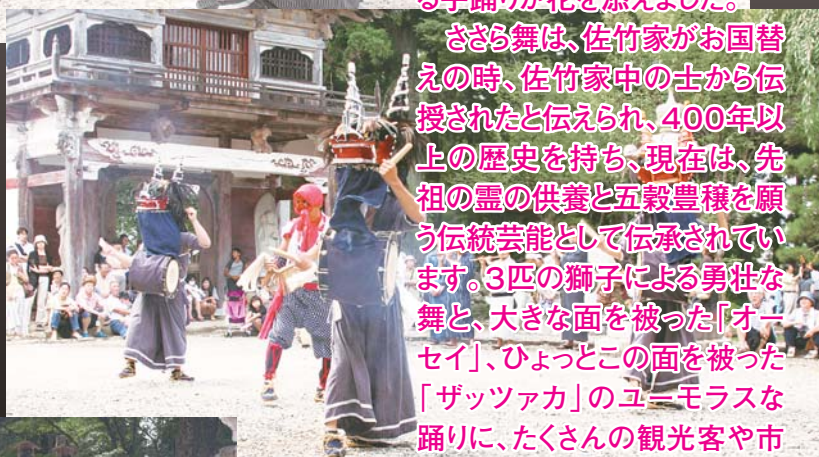
送り盆の
伝統行事

角館のささら舞



角館の送り盆行事「ささら舞」が8月15日、角館町内各所で行われました。

午後2時から、白岩雲巖寺や樺細工伝承館、午後6時から立町ポケットパークを会場に堂野口ささら、広久内ささら、白岩ささらが順に披露され、また、婦人会や子どもたちによる手踊りが花を添えました。



ささら舞は、佐竹家がお国替えの時、佐竹家中の士から伝授されたと伝えられ、400年以上の歴史を持ち、現在は、先祖の霊の供養と五穀豊穡を願う伝統芸能として伝承されています。3匹の獅子による勇壮な舞と、大きな面を被った「オーセイ」、ひょっとこの面を被った「ザツツアカ」のユーモラスな踊りに、たくさんの観光客や市民の皆さんから大きな拍手が送られました。

